

日医工 ジャーナル

日本における最新の医療機器
情報とトレンドを伝える

Vol.40 No.389

2014.5-6

対談

日本の医療機器開発の実情と課題

—生体吸収性ステントの開発をめぐる—

伊垣 敬二 氏 株式会社 京都医療設計 代表取締役 工学博士

妙中 義之 氏 国立循環器病研究センター研究所 副所長

海外情報

FDA医療機器ユニークデバイス 識別規則の概要

—理解の不一致を回避し情報を共有するために—

黒澤 康雄 氏 一般財団法人 流通システム開発センター 研究開発部・国際部

イベント

メディカルショージャパン&ビジネスエキスポ 2014

医療用機能・要素部品パビリオンは新しい局面に

感染予防

第3回 企業による感染症予防接種の必要性を問う

会社から感染者を出さない経営者の責任感こそ重要

杉下 由行 氏 中央区保健所 健康推進課長/医師

委員会活動

「法律・規格・基準」を担当する工業会の“頭脳” 法規関連委員会

安全セミナーの積極的開催と学会・行政との連携が活動の2本柱 人工呼吸委員会

日医工 ジャーナル

日本における最新の医療機器
情報とトレンドを伝える

Vol.40
No.389

2014.5-6

会誌 「日医工ジャーナル」
Vol.40 No.389 (年4回発行)
発行日 平成26年7月4日
発行所 一般社団法人 日本医療機器工業会
〒113-0033 東京都文京区本郷3-39-15
電話 03-3816-5575 (代)
FAX 03-3816-5576
印刷所 株式会社東光社
広報企画委員会
委員長 林正晃
委員 穴田輝彦 樋口久人
石塚悟 (管掌理事)
定価 1,000円 (税抜き価格) (会員無料)

[巻頭言]

6月に想う 松本謙一氏 一般社団法人 日本医療機器工業会 理事長 02

[対談]

日本の医療機器開発の実情と課題 03

一 生体吸収性ステントの開発をめぐる一

伊垣敬二氏 株式会社 京都医療設計 代表取締役 工学博士

妙中義之氏 国立循環器病研究センター 研究所 副所長

[海外情報]

FDA 医療機器ユニークデバイス識別規則の概要 09

一 理解の不一致を回避し情報を共有するために一

黒澤康雄氏 一般財団法人 流通システム開発センター 研究開発部・国際部

[イベント]

メディカルショージャパン&ビジネスエキスポ 2014
医療用機能・要素部品パビリオンは新しい局面に 13

[委員会活動]

「法律・規格・基準」を担当する工業会の「頭脳」 法規関連委員会 17

安全セミナーの積極的開催と学会・行政との連携が活動の2本柱 人工呼吸委員会 19

[感染予防]

第3回 企業による感染症予防接種の必要性を問う
会社から感染者を出さない経営者の責任感こそ重要 21

杉下由行氏 中央区保健所 健康推進課長/医師

[歴史]

日本の医療機器業界の足跡
第7回 医療の拡大と輸出の増加 24

[文化]

メディカルデバイス 文化探訪
高周波電流の特性を生かした「電気メス」 25

会員情報 26



シンボルマークについて

最初の文字「J」と最後の文字「I」に位置する二つの球体は、最初に行われる「開発」から機器の性能維持に不可欠な最後の「メンテナンス」にいたるまでの全工程を意味している。そしてその二つの球を、無限の可能性を記す「∞」で結び、当工業会の視野の大きさ、工業会会員の幅の広さ、さらに医療機器産業の限らない希望を示している。色は積極的な活動を象徴するレッド、そして清潔感と調和のとれた理性を象徴するグリーン。それを全体的に結びつけることで、工業会会員同士の連携や相乗効果も表現している。